

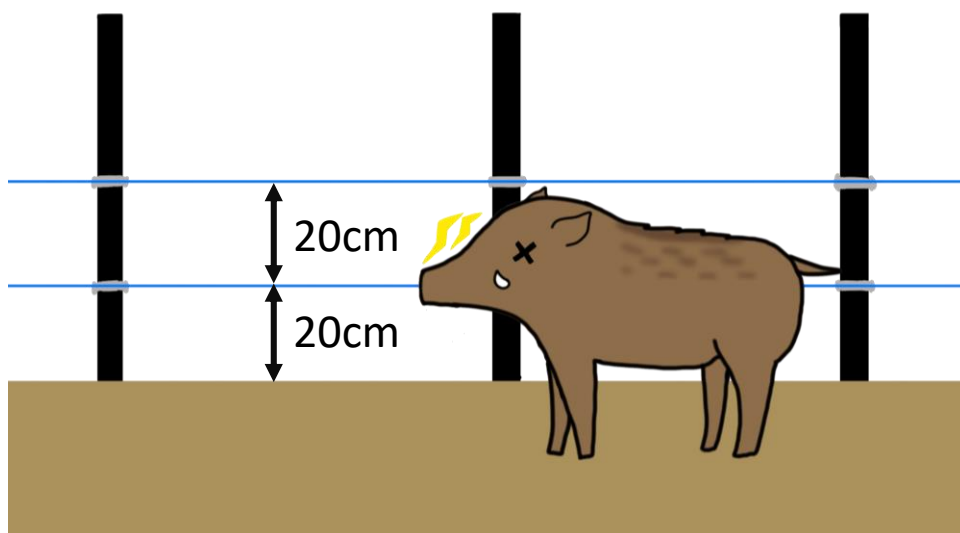
電気柵で農地を守ろう！！

近年、電気柵を設置している農業者の方や家庭菜園をしている方が増えてきました。ですが、中には設置をしているのに農作物被害にあってしまったという方もいらっしゃるかと思います。

設置している電気柵の効果を発揮させるために3つの事を参考にしていいただければと思います。

①電線の高さは大丈夫ですか？

→電気柵は動物の鼻や手に触れることで電気が体に流れます。まずは、対象動物の鼻や手に触れる高さになっているか確認してみましょう。



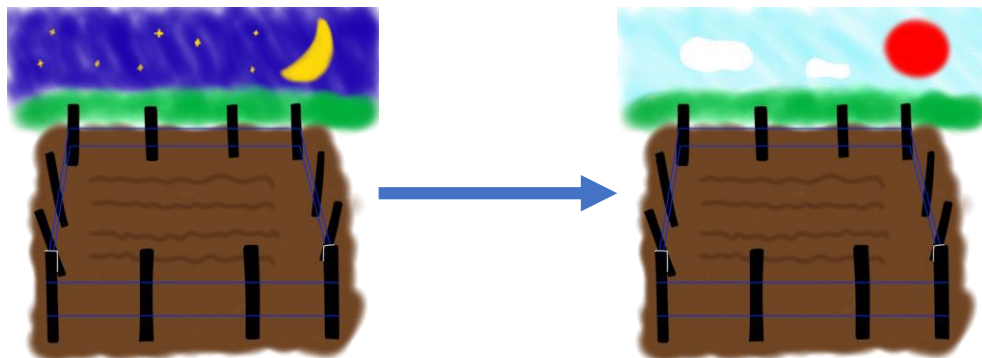
	間隔	段数
イノシシ	20cm	2～3段
ツキノウグマ	20cm	3段以上
ニホンザル	15cm	6～7段以上

② 24時間電気を流していますか？

→野生動物は夜のみ行動していると思われがちです。ですが、人がいない場合は山から下りて食べ物を探している時があります。

設置した日から雪が積もる直前までは設置をしたまま電気を流しておきましょう。

ギリギリまで設置をすることで入ってはいけない場所だと覚えさせましょう。



③電圧は足りていますか？

→電圧が低いと動物が痛い思いをせずに農地に入ってきてしまいます。今までは入られなかったのに入られてしまったら確認してみましょう。

例えば

- ・漏電していないか
 - ・バッテリーの調子は悪くないか
 - ・電線が悪くなっていないか
- など

地形や広さ、農作物などによって対策の仕方は様々です。あくまで参考にしていただければと思います。

電気柵の設置についてや被害相談などあればご連絡ください。

お問い合わせ

〒999-3192 上山市河崎1-1-10

上山市農林夢づくり課 農政企画係

電話023-672-1111 内線461